

利根川・江戸川ブロック公述書

開催場所：江戸川区総合文化センター 研修室

開催日時：平成19年2月26日

届出者の住所

東京 (都) 県 江戸川 市 (区) 町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・(60歳以上)

性別 (○で囲んで下さい)

(男性) ・ 女性

公述人 1
利根江戸-50

意見の概要

私達が住む江戸川、葛飾など江東デルタ地帯は、百年の間1~5mも地盤沈下した。まさに日本近代化の犠牲と言うべき公害である。それゆえ、干潮面以下という劣悪な地域が両区の2割近くを占める結果になった。今でも復興しない。ニューオーリンズと同様な地形と化したのである。そこで急遽、高規格堤防なるもので完全を期せう。と江戸川区、岩手橋間を準備が進んでいる。この点提言したい。高規格堤防を輪中堤として完成するには、四百年と一部の新聞にあった。冗談ではない。公害という視点が欠落している。当然の権利として予算を獲得すべき。せめて顔が見られる孫子の代、百年を目指さなければ意味がない。つぎに、高規格堤防敷の設定である。如何に優れた計画でも、今のやり方は関係住民にとって、寝耳に水の話。最低の準備期間が必要だ。堤防敷設定の法改正までは着工まで10年の猶予期間を設けるべき。篠崎公園など先行可能なところから初めよ。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所

東京 (都) 県 杉並 市 (区) 町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・(60歳以上)

性別 (○で囲んで下さい)

(男性) ・ 女性

公述人 2
利根江戸-18

意見の概要

水門設備工事の談合事件で国土交通省が、中央省庁としては初めて「官製談合防止法」の適用を受けることになった。職員の天下りのために国民の血税を無駄遣いしたという悪質な犯罪だ。このような犯罪を生む土壌が国交省にはあると思う。目的達成のためには費用の問題は二の次と考えているのだ。

今回の河川整備計画も、同じ土壌の上で策定作業が進んでいるのではないか。有識者会議を2度傍聴したが、提出された資料には、担当が必要と考えるメニューがずらずら並んでいる。それらの実施に必要な費用については全く説明がなく、その点を質した有識者もいなかった。1円の血税も無駄にはできない時代だ。限られた予算で達成できる、真に有効な事業だけを盛り込んだ整備計画にする必要がある。

そうした整備計画を策定するには、何が必要なのか。納税者の立場から公述したい。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

東京

都

江戸川

市

区

町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人3

利根江戸-49

意見の概要

江戸川区は、江戸川の最下流部に位置し、区内の約7割が満潮位より低い地盤である。昭和22年のカスリーン台風では、区内の大半が水没する壊滅的な被害を受けた。また昨今は全世界で、地球温暖化の影響による異常気象が原因と思われる大規模な自然災害が発生している。こうした状況の中治水対策は、すばるに優先して万全を期するべきである。その決め手になるのがスーパー堤防である。都市部では、スーパー堤防とまろづくりを進めるには、住民合意など困難が伴う。しかし、スーパー堤防事業は百年の大計であり、安全・安心という財産を子々孫々に残すため、やり遂げなければならぬ事業である。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所

千葉 都

市川

市

区

町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人4

利根江戸-52

意見の概要

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

今後、河川整備を実施する上で「河川環境の整備・保	全からの視点」と「市街地における内水排除対策からの	視点」からも河川整備の目標や具体的な内容を明らかに	されるよう次のとおり要望いたします。
1. 河川環境の積極的な整備と保全について	流域の自然的、社会的状況を踏まえ、河川環境の整	備と保全が適切に行われるように、河川空間の利用に	ついては自然共生型のものへ転換し、地域住民や関係
機関との連携を図りながら地域づくりにも資する河川	整備を積極的に推進していただきたい。		
2. 市街地における内水対策との連携・調整について	近年の市街化の進展や局地的な集中豪雨等による低	地部での内水被害に対し、市街地の安全度を高めるた	めにも、河川への強制排水など、他の事業や関係機関
との連携・調整を図りつつ、内水対策にも配慮した河	川整備を推進していただきたい。		

届出者の住所

東京 (都) 葛飾 市 (区) 町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

公述人 5

性別 (○で囲んで下さい)

男性 ・ (女性)

利根江戸-25

意見の概要

優良遊水池の雄基を量焼きと何度か見るたびに血み
とり身のたましきる思いたす。あの後に新しい命が芽
生えよといふトラマはすばらしいと思ひます。この雄大
な雄基は私ども国民の貴重財産です。コンクリートに
囲まれています。かり人工的になつてしまつた谷中湖のあ
りゆきをらしい自然の宝庫でした。利水の環境がなくな
つたと云ひれる。今、これ以上の破壊となし、次の世代
に自然のすばらしさを伝える勉強の場として残したい
と思ひます。最小限度に手を加えることによつて
水辺の自然とほつちう物がより良い飲み水も下流
住民に供給する為、国土交通省の苦勞したヨシ原、洋化、
論ととの効果、環境問題の勉強として今まではつた
て来られた。国土交通省も住民も、市民運動の人たちも智
恵を合つてこれ以上の自然破壊を止めたい。為にかま
したいと思ひます。大規模掘削事業には反対です。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。以下の部分について公表します

届出者の住所

東京 (都) 小平 市 (区) 町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

公述人 6

性別 (○で囲んで下さい)

男性 ・ (女性)

利根江戸-16

意見の概要

① 近年、集中豪雨による都市洪水が頻発し死者もて
発生してあります。都市化によって降る雨の大半は地中に
浸透することなく下水に捨てられ、地下水を涵養するど
ころか、都市洪水を引子起してVの力です。今日こそ
雨水を資源として見直し、雨水を貯めて活用する施策を
実践するのほ、都市の治水よから急務であらうのではな
いでしょうか。
② ①の施策を推進することにより、節水効果が高ま
り、水道使用量は減少し、保水水源での水余りは加速す
るはすです。都市洪水を抑制し防災に強い町づくりに効
果的でしょう。
新しい水源の確保とせずとも、水食のあり地下水を大
規模に使用し、既存の保水水源を有効に活用することこそ
選択すべき東京都の水政策ではないでしょうか。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

都 県 江戸川 市 区 町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代 (50代)・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性 () ・ 女性 ()

公述人7
利根江戸-6

意見の概要

今日大規模事業の結果評価、いあゆる費用対効果か内
 あれている。また、長期事業については不斬の点検と見
 直しか求められている。そして河川改修では生物多様性
 の維持が求められている。しかし、この観点からこれまで
 の事業をキエツするといふ姿勢が、全く見られな
 批判を浴びているダム事業(ハツ場ダム、湯西川ダム
 ・南摩ダム)は金金のみであり、目的の効果には大いに
 疑念がある。また、一度ダムを造って川を堰き止めると、
 自然の生態系は全く変わってしまった、取り返しのがた
 い結果を生み出す。ダムを100%否定しないが、ダムでな
 い方策を追求すべきである。今日の河川整備計画策定で
 は進行中の事業をキエツすると共に、治水対策手段の
 様々な選択肢とその費用を考えて議論すべきである。
 いまからでも遅くない。新河川法の精神に基づき、計画
 策定の市民参加を強く求める。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所

東京都 県

小平市 区 町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代 (40代)・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性 () ・ 女性 ()

公述人8
利根江戸-13

意見の概要

半世紀以上も前に計画されたハツ場ダムは、今や、利水	上、治水上の必要性を失っており、ダムサイト岩盤の脆	さ、ダム湖周辺が地滑りの危険性の高い地質であること	を考えると、無謀とも言える事業である。利根川流域6	都県の一日最大給水量は、この12年間で1割も減少し	ており、節水機器の普及や人口の減少で水余りはさらに	進行する。実際この20年以上、断水に至るような事態	は起こっていない。また、ハツ場ダム建設の前提となる	基本高水流量 22000 m ³ /秒はきわめて過大な数値であ	り、1947年のカスリーン台風 (17000 m ³) 以降は1万 m ³	そこそこの洪水しか起きていない。しかも、吾妻川上流	域の気象は長野県型で、利根川本流域とは雨の降り方が	異なるので、カスリーン台風の再来計算でもハツ場ダム	の治水効果はゼロだ。6都県で進行中の住民訴訟の中で	は、データに基づき次々と問題点が明らかになってい	る。本体工事に入る前に、事業中止の英断をするべきだ。
---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--	--	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

都・県

市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

公述人9

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

利根江戸-12

意見の概要

渡良瀬川・新赤麻橋東の鷹見台。此処に立って見る、見渡す限りのヨシ原。初夏にはカツコウヤヨシキリの声を乗せて吹き渡る風がいくつもの緑の波をうねらせ一日中見ていてもあきることのない実に魂の安らぐ風景です。この第一調節池に500万㎡の治水目的の掘削が行なわれるという。第一調節池は治水池の中で最も自然豊かな場所であり、此処が炭規模に掘削されれば①ヨシを始めとする植物が貴重種も含めて絶滅する。②植物が失われれば東日本で最大の越冬地とされる渡良瀬治水池の中で第一調節池で営巣するワシタカ類の棲息が困難になる。③地下水面まで掘削すれば周辺の地下水を引き寄せ周辺市町の地下水利用に支障を与える。治水を目的とするならば渡良瀬治水池全体で約1億7千万㎡という十分な大きさの治水容量が概に確保されている。生きものすべてにとってかけがえのない自然を不要な工事で破壊することは許されない。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。